

《担当者名》 唐津 ふさ karatu23@hoku-iryo-u.ac.jp 高橋 啓太 熊谷 歌織 神田 直樹 高木 由希 伊藤 加奈子 鈴木菜緒香

【概要】

臨床判断を行う思考過程を理解し、患者の状態に合った的確な看護援助を論理的に考えて提供できる力を養う。

【学修目標】

1. 臨床推論を通して臨床判断を行うプロセスを理解できる。
2. 臨床推論によって事例の身体状態を判断し、必要な看護援助を導き出すことができる。
3. 臨床判断に基づいて対象者に合った看護計画を立案し、実践・評価できる。
4. 演習を通して、看護実践における自己の課題を明確にできる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 }	臨床判断	科目のねらいと学習の進め方 臨床判断の概要、臨床推論・看護過程との関連の理解	唐津・高橋
2			
3 }	臨床判断	事例を活用した臨床判断プロセスの理解	高橋
4			
5 }	臨床判断	事例を活用した臨床判断プロセスの理解	高橋・唐津 熊谷・神田 高木・伊藤 鈴木
6			
7 }	臨床判断	事例を活用した臨床判断プロセスの理解	高橋・唐津 熊谷・神田 高木・伊藤 鈴木
8			
9 }	術後患者への援助の実践	事例の状況に応じた看護計画の立案	高橋
10			
11	術後患者への援助の実践	シミュレーションを通して、フィジカルイグザミネーションと臨床判断の過程を体験する。	高橋・唐津 熊谷・神田 高木・伊藤 鈴木
12	術後患者への援助の実践	シミュレーションの振り返り、術後回復を促進する援助の理解	高橋
13 }	術後患者への援助の実践	ロールプレイを通して、術後患者に対する具体的な援助方法を学ぶ。患者・看護師両方の立場から援助を振り返り、援助内容の評価および看護実践における自己の課題を明確にする。	高橋・唐津 熊谷・神田 高木・伊藤 鈴木
14			
15	術後患者への援助の実践	ロールプレイの振り返りと臨床判断プロセスのまとめ	高橋

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

演習課題60% 定期試験40%

【教科書】

1. 本庄恵子・吉田みつ子監修 新訂版 写真でわかる 臨床看護技術 アドバンス インターメディカ 2020
 2. 本庄恵子・吉田みつ子監修 新訂版 写真でわかる 臨床看護技術 アドバンス インターメディカ 2020
- その他、学習内容に関連する既習科目の教科書

【参考書】

1. 三浦友理子・奥裕美 臨床判断ティーチングメソッド 医学書院 2020

【備考】

- ・ Google formを活用し、授業時間中にその場で学生の理解度を把握する。
- ・ Google classroomを活用し、学習課題、追加資料などの配布等を行う。

【学修の準備】

以下の内容について各授業前後に予習・復習を行う（1時間）

事例患者や演習内容に関連した2年次までの既習科目（人体構造機能学・看護技術論・成人病態と臨床実践など）の復習

演習に関連して提示される事前課題・事後課題

指定された視聴覚教材の視聴を通じた看護技術に関する学習

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：看護専門職に必要な知識・技術を習得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

【実務経験】

唐津 ふさ（看護師）、高橋 啓太（看護師）、熊谷 歌織（看護師）、神田 直樹（看護師）、
高木 由希（看護師）、伊藤 加奈子（看護師）、鈴木菜緒香（看護師）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での看護師としての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な看護援助について教育を行う。